

週報

令和 6 年 6 月 7 日
2023~2024年度 No.34

2023-24年度 国際ロータリーのテーマ

Rotary



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードンR.マッキナリー

プログラム

S A A 藤川 博士君

- | | |
|--------------------|-------------|
| ☆ 点 鐘 | ☆ 委員会報告 |
| ☆ 国歌斉唱「君が代」 | ①親睦委員会 |
| ☆ ロータリーソング斉唱 | ・スマイルボックス報告 |
| 「奉仕の理想」 | ☆ 部内卓話 |
| ☆ 四つのテスト唱和 職業奉仕委員会 | 中村 栄治君 |
| ☆ 誕 生 祝 | ☆ 点 鐘 |
| ☆ 食 事 懇 談 | |
| ☆ 会長の時間 | |
| ☆ 幹 事 報 告 | |

現在会員 29名					前々回の欠席者 (5/24) 2名								
本日	出席 17名	欠席 7名	免除(a)欠席 2名	出席率 70.83%	前々回	出席 21名	MU 2名	免除(a)MU 2名	修正出席率 92.00%				
月別	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
出席率%	本年度	77.26	83.66	87.66	84.78	89.40	90.22	92.55	95.45	88.38	88.46	89.64	
	前年度	82.97	81.16	84.53	81.69	91.84	91.44	90.16	93.48	96.87	83.80	85.93	89.39

誕 生 祝

山下 克己君(昭和25年6月1日生)

皆様、こんにちは。誕生日のお祝いをいただきました。ありがとうございます。令和6年6月1日をもって、74歳になりました。

まだまだ、これくらいで老け込んだりしたくない。負けずに、頑張ろうという気持ちだけはあるのですが、現実はそういう訳にもいかないということを感じています。感じるだけにとどまらず、日々、思い知らされているのが実情です。それでも、こうして皆さん方のお話を聞かせていただいたり、一緒に食事をしたりの機会を失うわけにはいきません。このような機会に恵まれることが何よりの贈り物であると心から思い、感じたり、喜んだりしています。まだまだ当分はお世話になりたいと考えています。よろしくお願ひ致します。



山下 実君(昭和38年6月3日生)

誕生日ありがとうございます。

6月3日で満61歳を迎えました。福江RCに入会以来、20回目のお祝いをしていただくことになりました。先日5月24日には二人目の孫が産まれ、しかも今度は女の子でした。名前も詩晴（うたは）と決まり、一人目が奏助（そうすけ）で2人目が詩晴（うたは）ということで、「奏でたり、詩ったり」と、なんだか賑やかな孫たちになりそうです。

毎年言っていますが、6月3日は雲仙普賢岳火砕流が発生した日でもあります。1991年6月3日、死者・行方不明者合わせて43名という、大自然の驚異に晒されたわけです。

さて、61歳という年齢はまだまだこれからという年齢ではありますが、私自身は終活について日増しに考えるようになっています。仕事を終わらせ、元気なうちに旅行などの趣味に時間を使いたいと考えています。

私の仕事は、それほどのハードワークではないと思っていますが、どうしても拘束される時間が長く、まとまった休みが取れないという悩みが付きまとってきました。

そろそろ、家族との時間をいっぱい持ちたいというのが本音です。

本日はありがとうございました。



会長の時間

会長 平村 和弘君

それでは会長の時間を始めさせていただきます。昨年くらいから、熊に関するニュースをよく聞いているような気がします。九州には熊は居ないとのことですが、旅先などでもし出合ってしまったら、どのように対処したらいいのか調べてみました。

知床財団のホームページからの引用となります。

状況1 「距離が離れていた場合 距離100m」

熊がこちらに気付いていない時は、静かにその場から離れる。熊がこちらに気付いているが近づいてこない時も、熊の様子を見ながらゆっくりとその場を離れる。熊がゆっくり近付いて来るのは、人間だということを知らずに来ている可能性があるので、熊に人間だということを知らせるため、石や倒木などに上がり、大きく腕をふりながら穏やかに声をかける。非常に稀ですが、この様な行動をとっても接近をやめない場合、興味本位または捕食目的で近づいている可能性もあります。車内や屋内などに退避しましょう。さらに距離が50m以内でクマが明らかに人を意識しながら接近を続け、逃げ場がなく、逃げ切れそうになれば強気に対応しましょう。倒木や石の上に立ち、自分を大きく見せ、大きな声と音を立てて威嚇しましょう。2人以上いるときは、まとまって行動しましょう。クマ撃退スプレーを持っていれば噴射の準備をしましょう。その他、棒など武器になり

そうなものを手にとりましょう。

状況2 「突発的な遭遇！ 距離20～50m」

熊がのっそり立ち上がるか、ひょっこり出てきたときは、あわてずにゆっくり両腕を上げて振り、穏やかに話かけながら（万が一の突進に備えて）クマとの間に立ち木などが来るよう、静かに移動しましょう。クマが立ち上がり、または四つんばいのまま鼻をヒクヒクさせる行動は、相手を確認するためのものだそうです。この対応で熊がこちらを無視していれば、クマから目を離さないように（ただし、にらみつけずに）ゆっくりとクマから離れましょう。しかし、この対応で熊が立ち去らない時は、立ち去らない理由（子グマやシカの死体など）がないか付近を冷静に観察し、ゆっくり離れましょう。急な動きはクマを興奮させるので避けましょう。こちらがいつまでも動かずになると、敵対行動と受け取られる可能性があるということです。

状況3 「突発的遭遇！ 距離20m以下」

落ち着いて、静かに、走らない！とにかく突発的に走って逃げるとか、大声でわめくような行動は、ただでさえびっくりしているクマを更に怯えさせ、ストレスのあまり防衛的な攻撃に移らせる可能性があります。落ち着いて。静かに。走らない！ゆっくり両腕を上げて振り、穏やかに話しかける。すぐそばに障害物（立木など）があれば、可能ならクマとの間にそれが来る位置関係に静かに移動（注：万一の突進に備えて）。クマ撃退スプレーがあれば準備しながら…と言いたいが、多くの場合、そんな余裕はない。ほとんどの場合、唚然として立ちすくむと、とたんにクマが全速力で逃げて行きますとのこと。

この場合に走って逃げると、熊は素早く動くものに反応します。走って逃げると後を追いかけてくるかもしれません。ちなみに、ヒグマは時速60kmで走ることが可能だそうです。

状況4 「熊が突進してきたら！」

まず、落ち着きましょう。突進の多くは、威嚇突進行動（ラフチャージ）です。クマは相手に突進しても途中で止まり、激しく地面を叩くなどした後に、後退する事が多いとのことです。この場合、穏やかに声をかけながら、クマとの間に障害物を置くようにゆっくり後退しましょう。

※クマ撃退スプレーがあれば、噴射準備。

本当の攻撃の場合は、クマ撃退スプレーがあれば、クマの目と鼻をめがけて一気に全量を噴射します。クマ撃退スプレーがない場合（またはスプレーが効かず攻撃を受けてしまったら）、その場

に倒れこんで、防御姿勢をとりましょう。襲われた時の防御姿勢は、うつ伏せになって顔と腹部を守り、首の後ろは手を回して保護する。バックパックがプロテクターになります。転がされても、その勢いで元の姿勢に戻ることと、なっていました。

最後は運にまかせるしかないようです。本州に居るツキノワグマの場合は、最後は戦ったほうが生存確率は高いそうです。

熊と出会うことはまず無いと思いますが、頭の片隅にでもとどめておいてください。以上で会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 松岡 孝博君

【当クラブ関係】

- ・第12回定例理事会

本日の例会終了後、2階会議室で開催されます。理事役員の方は御出席お願いします。

【地区関係】

- ・第4回会長幹事会

6月5日（木）長崎市のヒルトン長崎にて開催されました。平村会長・松岡幹事・片山次年度会長・有川次年度幹事が出席してきました。

- ・国際ロータリー第2740地区2023年～2024年度第9グループガバナー補佐、辻村栄蔵様と第10グループガバナー補佐の鶴田修様より、ガバナー補佐慰労会・激励会のご案内が届いています。
- ・長崎南RCより、例会休会のお知らせが届いています。

【地域関係】

- ・長崎県民センター長より、令和6年度「ながさき県政出前講座」のパンフレットが届いています。

【その他】

- ・2024年6月のロータリーレートは、1ドル157円です。

委員会報告

出席報告

- ◆ 6月7日（欠席者マークアップ）
才津 喜彦君
- ◆ 6月7日（免除(a)欠席者）
植松 郁雄君 中村 博義君
- ◆ 6月7日（免除(b)欠席者）
清瀧 誠司君 佐々野邦久君 吉田 泰之君
- ◆ 6月7日欠席者
神之浦文彦君 小畠 和男君 坂井 成光君
橋本 武敏君 寺澤 信義君 森 正明君
市村 篤史君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇ 山下 克己君 本日は誕生祝いありがとうございます。
- ◇ 山下 実君 本日は誕生祝いありがとうございます。欠席。
- ◇ 中村 栄治君 本日の部内卓話、ご静聴よろしくお願ひ致します。
- ◇ 山里 一郎君 山下克己さん、山下実さん、誕生祝いおめでとうございます。
- ◇ 松岡 孝博君 //
- ◇ 戸田 博之君 //
- ◇ 柳田 靖夫君 //
- ◇ 有川 真史君 //
- ◇ 山口 裕之君 //
- ◇ 宮脇 秀至君 //
- ◇ 平村 和弘君 中村栄治さん、本日の卓話よろしくお願ひします。
- ◇ 張本 民雄君 //
- ◇ 片山 雅文君 //
- ◇ 藤川 博士君 //
- ◇ 西上裕一郎君 //
- ◇ 野崎 薫君 //

合計 16,000円
通算合計 623,000円

部内卓話

中村 栄治君



橋本プログラム委員長の部内卓話の予定表に私の名前があり、当初は3月29日、次に4月12日、新会員卓話が入って5月24日、その後6月7日と先送りになり、もしかして今期の部内卓話はお流れになるかなと期待していたのですが、残念なことに今日卓話をするようになりました。

私は、文章を作るのも発表するのも苦手です。誰か生成AIの使い方を教えて下さい。もし、次に部内卓話が回ってきたら、それで対応したいと思います。

6月7日の部内卓話のネタを考えながら、家内と一緒にウォーキングをしていたのですが、4月10日の夕方5時ぐらいに少し下り坂の側溝の蓋に足が引っかかってしまい、顔面から落ちてひどい打撲と出血をしてしまいました。

部内卓話のネタを考えていたというのは冗談ですが、わき見をして前を見ていなっかたのが原因だと思います。それと67歳なので前期高齢者も一因でしょうか？

10数年前に心房細動を処置した際に血液をサラサラにする薬を飲み始めたので、血が出ること出ること。家内が驚いて救急車を呼び、鼻の下を3針縫い、鼻の裂けている傷口をレーザーで2～3ヵ所焼いて出血を止めました。三日後、長崎での用事を済ますために、顔をサングラスとマスクで隠して離島。抜糸をする前日に一人で自宅へ戻りテレビを見ていたら、その夜10時に鼻のかさぶたの間から出血。血を止めることができずに、五島病院の緊急外来に鼻をタオルとガムテープで押されて通院。ガーゼを当ててもらって帰宅。1時間ほどしてまた出血し通院。テープで押さえてもらって帰宅し、眠っていたら朝4時ごろ頬の方がべた付いたので目を覚ますと、枕が血に濡れていたので、朝5時ごろ三度(みたび)緊急外来へ、レーザーで焼いてやっと止血。下はパジャマ、上は出川哲郎さんがCMをしているリライブを着て、自力で

運転して緊急外来に1日に3回も通院しました。初めてのことでした。

出血のことでもう一件。6年前ぐらいに長崎大学病院で胃の表皮癌を手術した時のことです。手術後2週間が経過して、そろそろ退院かなと喜んで朝歯磨きをしていたら、口の中が血生臭いのです。なんでだろうと思っていたら、今度は吐き気がしてトイレに駆け込みました。吐いたら、鮮血とともに胃に貼っていた表皮らしきものが便器の中にありました。それから、吐血と下血を繰り返し出血多量、血圧低下、その時の数値は忘れましたが、相当に低下していたと思います。病院内なので寒くはないはずですが、体がガタガタ震えていました。自分では意識はハッキリしていると思っていたのですが、最近、家内から紙パンツに履き替えさせたと聞き驚きました。知らないうちに意識を失ってしまっていたのでしょうか。もし退院して自宅に帰っていたら、おそらく今ここに立っていなかっただかもしません。

今年のテーマ「希望の灯(ひ)をともそう」は、ロータリーの奉仕の理想の実践のことだと思います。「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務および、これらに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は、奉仕「超我の奉仕」の哲学であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践理論の原理に基づくものである。」と定義されています。

すなわちロータリーには二つの奉仕理念があり、その一つは職業奉仕の理念であり、もう一つは他人のことを思い遣り、他人のために尽くすという人道的奉仕活動の理念だということができます。

また、ポール・ハリスは著書の中でロータリーの「奉仕の理想」とは、「ものの過程の最初に奉仕を置くものである。奉仕の理想を標榜する者は受けるべき物質に於いてではなく、まず与えるべき奉仕に着眼するべきである。物質を眼前に置けば見通しは困難となる。そして、その最も愚かな方法は金銭に集中することである。」と説明しています。

未熟な私には、何か分かったようで分からない内容ですが、2760地区の村井ガバナーが奉仕の理想を「思いやりの心」で説明しています。思いやりとは同情することや慰めることだけでなく、手を差し伸べて乗り越えることであり、その根底には単なる偽善的な行為や金銭の施しではなく、さらに自己満足のためであってはならない。それが

あなたの喜びが私の喜びである。良い汗をかいたのではなく、喜んでもらえたということが大切ではなかろうかと解説しています。

以上の内容に当てはめると、私はロータリーの奉仕の実践を全くやっていないことになります。誰か、業種的な奉仕の仕方を具体的に教えてください。

ある日、会社宛てに「定額減税（源泉所得税）パンフレット在中」という書類が、ATENA DM SENTERという所から届いていました。その下には福江税務署と書いていましたので、開封すると小冊子が入っていました。その内容は定額減税の対象となる人、定額減税額等々説明がされていました。3万円の減税で内容がややこしいこと。従業員が多い会社は、控除対象者の確認、給与のフォーマットの変更など大変だろうなと思います。異次元の世界にいる人たちは何を考えているんだろう。もっと簡単な還付の仕方はなかったんだろうかと思います。目的は何だったんでしょうか？

また、給与明細に定額減税という文字を入れなかったら何らかの罪に問われるのでしょうか？

いま日本は国の借金問題、政治資金問題、少子高齢化問題、非正規雇用問題など問題が山積みですが、日本国はこのままで大丈夫でしょうか。